

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年11月13日
【四半期会計期間】	第33期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	フジプレミアム株式会社
【英訳名】	Fujipream Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松本 倫長
【本店の所在の場所】	兵庫県姫路市飾西38番地1
【電話番号】	079(266)6161(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員専務 IR・広報部長 大川 拓志
【最寄りの連絡場所】	兵庫県姫路市飾西38番地1
【電話番号】	079(266)6161(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員専務 IR・広報部長 大川 拓志
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第32期 第2四半期 連結累計期間	第33期 第2四半期 連結累計期間	第32期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	7,045,982	9,815,942	15,313,369
経常利益 (千円)	768,708	983,516	1,509,878
四半期(当期)純利益 (千円)	384,809	585,469	808,669
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	428,513	594,473	859,534
純資産額 (千円)	7,388,907	8,242,952	7,819,928
総資産額 (千円)	16,001,173	21,257,081	17,227,540
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	13.47	20.49	28.30
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	45.5	38.2	44.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	560,962	1,590,875	1,227,024
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	298,297	324,568	293
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	433,076	3,130,330	909,536
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	3,551,743	8,048,129	3,658,690

回次	第32期 第2四半期 連結会計期間	第33期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	6.06	9.00

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの名称を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。
なお、第1四半期連結会計期間より、従来の「フラットパネルディスプレイ部門」及び「クリーン・エコエネルギー部門」は、それぞれ「精密貼合及び高機能複合材部門」及び「環境ビジネス部門」へ名称を変更しております。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策等を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費税の引上げによる個人消費の落ち込みや、円安による原材料価格やエネルギーコストの上昇等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの主力事業である精密貼合及び高機能複合材部門におきましては、タッチパネルやLED関連の市場が伸び、堅調に推移いたしました。また、環境ビジネス部門におきましては、再生可能エネルギーの固定価格買取制度により、産業用の需要が拡大し、好調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高9,815百万円（前年同四半期比39.3%増）、営業利益987百万円（同34.8%増）、経常利益983百万円（同27.9%増）を計上し、四半期純利益は585百万円（同52.1%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

精密貼合及び高機能複合材部門

当部門につきましては、国内外におけるディスプレイ市場は、4Kテレビ等の高付加価値タイプのディスプレイ市場が拡大し、堅調な推移を見せております。また、タッチパネル市場におきましては、産業用分野やアミューズメント分野等に使われる用途が広がり、生産量も拡大しております。しかしながら、新興国での生産技術の進化や低価格品の台頭等、世界市場での競争は激しさを増しております。このような市場の変化の中、精密貼合技術やダイレクトボンディング技術を活用し、新規生産設備の導入による生産の高度化を推進、更に独自の技術を活かしLED関連事業にも参入する等、新規ビジネスへの取組みを強化し、実績を上げてまいりました。

この結果、売上高6,671百万円（前年同四半期比35.0%増）、営業利益672百万円（同39.2%増）となりました。

環境ビジネス部門

太陽電池の国内市場は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の施行により、住宅用から産業用、更にメガソーラー発電所用に至るまで幅広く太陽光発電システムの需要が拡大いたしました。これらの市場に対して、競合他社とは差別化された特徴を持つ超軽量太陽電池モジュールが多くの受注を獲得し、販売量増加に貢献いたしました。しかしながら、海外製品の流入や新規参入企業の増加、そして電力会社による系統連系接続申込みへの回答保留が発生する等、市場環境としては課題が増加しております。このような市場の動きに対応すべく、独自の技術で開発した超軽量太陽電池モジュール、更に、規制緩和された農地並びに駐車場へ設置可能な追尾型太陽光発電システム等を拡販してまいりました。

この結果、売上高3,144百万円（前年同四半期比49.4%増）、営業利益321百万円（同38.0%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ4,389百万円増加の8,048百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、1,590百万円(前年同四半期は560百万円の使用)となりました。

これは主として、たな卸資産の増加764百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益969百万円、売上債権の減少1,244百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、324百万円(前年同四半期は298百万円の使用)となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出321百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、3,130百万円(前年同四半期は433百万円の獲得)となりました。

これは主として、短期借入金の純減少額500百万円、長期借入金の返済による支出1,191百万円があったものの、長期借入れによる収入5,000百万円があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、51,966千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	前年同四半期比(%)
精密貼合及び高機能複合材部門(千円)	5,952,999	37.6
環境ビジネス部門(千円)	1,648,035	11.0
合計(千円)	7,601,035	30.8

(注) 1. 金額は製造原価によっております。なお、セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
精密貼合及び高機能複合材部門	6,773,331	35.4	262,201	256.1
環境ビジネス部門	3,294,170	53.4	216,122	390.9
合計	10,067,501	40.8	478,323	306.5

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	前年同四半期比(%)
精密貼合及び高機能複合材部門(千円)	6,671,818	35.0
環境ビジネス部門(千円)	3,144,124	49.4
合計(千円)	9,815,942	39.3

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 当第2四半期連結累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。

相手先	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)
旭硝子株式会社	3,685,608	37.6
日亜化学工業株式会社	1,669,252	17.0

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	105,000,000
計	105,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月13日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	29,786,400	29,786,400	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100 株であります。
計	29,786,400	29,786,400	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	29,786,400	-	2,000,007	-	2,436,668

(6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
松本實藏	兵庫県姫路市	13,130	44.08
松本倫長	兵庫県姫路市	2,441	8.19
松本庄藏	兵庫県尼崎市	1,854	6.22
東レ株式会社	東京都中央区日本橋室町2丁目1-1	1,560	5.23
フジプレミアム株式会社	兵庫県姫路市飾西38-1	1,211	4.06
旭硝子株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目5番1号	936	3.14
リンテック株式会社	東京都板橋区本町23-23	936	3.14
ジェイアンドエム株式会社	兵庫県姫路市飾西274番地の17	475	1.59
松本春代	兵庫県姫路市	360	1.20
松本守雄	兵庫県姫路市	330	1.10
計	-	23,235	78.00

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,211,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 28,574,000	285,740	-
単元未満株式	普通株式 1,000	-	-
発行済株式総数	29,786,400	-	-
総株主の議決権	-	285,740	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が600株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれております。

2. 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式が61株含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
フジプレミアム株式会社	兵庫県姫路市 飾西38番地1	1,211,400	-	1,211,400	4.06
計	-	1,211,400	-	1,211,400	4.06

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あると築地監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,708,690	8,098,129
受取手形及び売掛金	4,542,343	3,298,314
商品及び製品	967,737	1,519,014
仕掛品	765,847	984,446
原材料及び貯蔵品	706,622	701,626
その他	241,909	218,821
貸倒引当金	17,566	10,046
流動資産合計	10,915,584	14,810,306
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,280,229	2,243,785
土地	2,266,490	2,266,490
その他（純額）	1,357,076	1,534,958
有形固定資産合計	5,903,796	6,045,234
無形固定資産		
その他	16,013	12,711
無形固定資産合計	16,013	12,711
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	23,795	26,061
その他	373,012	367,430
貸倒引当金	4,662	4,662
投資その他の資産合計	392,145	388,829
固定資産合計	6,311,955	6,446,775
資産合計	17,227,540	21,257,081

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,310,257	2,794,668
短期借入金	2,700,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,632,013	2,543,415
未払法人税等	459,008	385,135
賞与引当金	15,563	15,612
その他	346,344	246,025
流動負債合計	7,463,187	8,184,856
固定負債		
長期借入金	1,770,000	4,666,600
その他	174,423	162,672
固定負債合計	1,944,423	4,829,272
負債合計	9,407,611	13,014,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,440,803	2,440,803
利益剰余金	4,087,891	4,501,912
自己株式	863,890	863,890
株主資本合計	7,664,812	8,078,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,289	16,800
為替換算調整勘定	17,976	20,685
その他の包括利益累計額合計	36,266	37,486
少数株主持分	118,850	126,633
純資産合計	7,819,928	8,242,952
負債純資産合計	17,227,540	21,257,081

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	7,045,982	9,815,942
売上原価	5,767,637	8,282,051
売上総利益	1,278,344	1,533,891
販売費及び一般管理費	1,546,174	1,546,696
営業利益	732,170	987,195
営業外収益		
受取利息	2,447	1,603
為替差益	18,197	13,377
助成金収入	14,340	-
受取補償金	15,000	-
その他	8,089	5,483
営業外収益合計	58,075	20,464
営業外費用		
支払利息	20,624	18,209
リース解約損	-	5,844
その他	912	89
営業外費用合計	21,537	24,143
経常利益	768,708	983,516
特別損失		
固定資産除却損	-	9,774
ゴルフ会員権評価損	-	3,909
減損損失	1,378	-
特別損失合計	1,378	13,683
税金等調整前四半期純利益	767,330	969,832
法人税、住民税及び事業税	409,909	412,373
過年度法人税等	-	37,794
法人税等調整額	38,290	2,001
法人税等合計	371,619	376,580
少数株主損益調整前四半期純利益	395,711	593,252
少数株主利益	10,901	7,782
四半期純利益	384,809	585,469

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	395,711	593,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,556	1,488
為替換算調整勘定	23,245	2,709
その他の包括利益合計	32,802	1,220
四半期包括利益	428,513	594,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	417,611	586,690
少数株主に係る四半期包括利益	10,901	7,782

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	767,330	969,832
減価償却費	178,611	169,580
賞与引当金の増減額(は減少)	756	48
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,686	2,265
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,150	7,519
受取利息及び受取配当金	3,908	2,746
支払利息	20,624	18,209
固定資産除却損	-	9,774
ゴルフ会員権評価損	-	3,909
減損損失	1,378	-
売上債権の増減額(は増加)	711,312	1,244,029
たな卸資産の増減額(は増加)	1,655,126	764,879
仕入債務の増減額(は減少)	130,409	457,585
前渡金の増減額(は増加)	8,465	27,692
未払金の増減額(は減少)	224,059	85,520
未払消費税等の増減額(は減少)	36,106	13,276
その他	97,951	33,036
小計	222,033	2,057,491
利息及び配当金の受取額	3,908	2,782
利息の支払額	18,067	18,028
法人税等の支払額	324,769	451,370
営業活動によるキャッシュ・フロー	560,962	1,590,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	244,455	-
有形固定資産の取得による支出	39,985	321,521
その他	13,856	3,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	298,297	324,568
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	500,000
長期借入れによる収入	1,400,000	5,000,000
長期借入金の返済による支出	790,121	1,191,998
リース債務の返済による支出	5,352	6,221
配当金の支払額	171,449	171,449
財務活動によるキャッシュ・フロー	433,076	3,130,330
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,141	7,199
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	423,042	4,389,438
現金及び現金同等物の期首残高	3,974,785	3,658,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,551,743	1 8,048,129

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(財政状態、経営成績又はキャッシュ・フローの状況に関する事項で、企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の判断に影響を与えると認められる重要なもの)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
役員報酬	46,437千円	65,175千円
給料	194,658	191,104
貸倒引当金繰入額	4,150	3,518
賞与引当金繰入額	1,109	1,047
退職給付費用	2,816	8,174

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	4,032,179千円	8,098,129千円
預入期間が3か月を超える定期預金	480,435	50,000
現金及び現金同等物	3,551,743	8,048,129

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	171,449	6	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	171,449	6	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	精密貼合及び高 機能複合材部門	環境ビジネス 部門	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,941,934	2,104,048	7,045,982	-	7,045,982
セグメント間の内部 売上高又は振替高	152,595	-	152,595	152,595	-
計	5,094,529	2,104,048	7,198,578	152,595	7,045,982
セグメント利益	482,938	232,791	715,730	16,439	732,170

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去等によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	精密貼合及び高 機能複合材部門	環境ビジネス部門	全社・消去	合計
減損損失	1,378	-	-	1,378

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	精密貼合及び高 機能複合材部門	環境ビジネス 部門	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,671,818	3,144,124	9,815,942	-	9,815,942
セグメント間の内部 売上高又は振替高	232,666	-	232,666	232,666	-
計	6,904,485	3,144,124	10,048,609	232,666	9,815,942
セグメント利益	672,332	321,330	993,663	6,468	987,195

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去等によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間より、従来の「フラットパネルディスプレイ部門」及び「クリーン・エコエネルギー部門」は、それぞれ「精密貼合及び高機能複合材部門」及び「環境ビジネス部門」へ名称を変更しております。なお、当該変更は名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	13円47銭	20円49銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	384,809	585,469
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	384,809	585,469
普通株式の期中平均株式数(株)	28,574,939	28,574,939

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月13日

フジプレミアム株式会社

取締役会 御中

あると築地監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 岩崎 和文 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 長井 完文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジプレミアム株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジプレミアム株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。